

ウィズコロナでのコミュニケーションを豊かにする 「マスクの下は笑顔です。」活動を駿豆線でも実施

伊豆箱根鉄道株式会社(本社:静岡県三島市、代表取締役社長:伍堂 文康)では、大雄山線にて南足柄市と共同でおこなっている「マスクの下は笑顔です。」活動を、駿豆線でも下記のとおり実施しました。

この活動は、新型コロナウイルス感染症対策でマスクの着用を推奨する「新しい生活様式」が定着する中、鉄道職員がインスタントフォトシステム「instax“チェキ”」で撮影した笑顔のチェキプリント(写真)を身に着けることで、笑顔の見える接客でお客さまに安心感を持っていただき、より豊かなコミュニケーションを図ることを目的に実施します。



記

1. 開始日 2020年10月24日(土)より
※大雄山線では2020年7月29日(水)より現在も実施しています。
2. 対象者 伊豆箱根鉄道駿豆線の駅員55名および乗務員・運転指令など39名 計94名
3. その他 「マスクの下は笑顔です。」活動について
富士フィルムイメージングシステムズ株式会社が『撮ったその場ですぐにプリントが得られるインスタントフォトシステム「instax“チェキ”」』を活用してより豊かなコミュニケーションの実現を目指す活動。南足柄市は富士フィルム創業の地であることから、当社と南足柄市が賛同し、この活動を開始しました。
大雄山線の駅員・乗務員、南足柄市役所の全職員、道の駅「足柄・金太郎のふるさと」の従業員 計565名が参加しています。

以上